

2019年第4回世界メッシュコード研究会

2019年10月24日

世界メッシュコード研究会事務局

科学技術振興機構さきがけ研究「グローバル・システムの持続可能性評価基盤に関する研究」の2019年度実施計画に基づき、世界メッシュコード研究会を開催いたします。

日時：2019年10月31日（木） 18:00～20:00

場所：株式会社NTTデータ 豊洲センタービル10階 INFORIUM Lab A

住所：〒135-0061 東京都江東区豊洲3丁目3

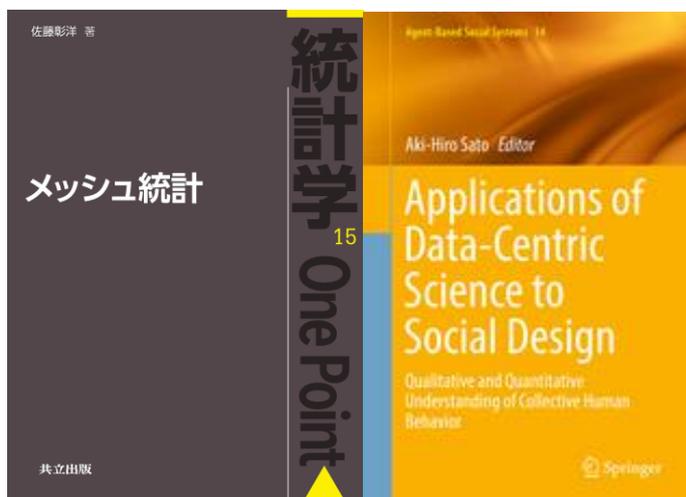
内容

- ・ MESHSTATS の機能試験に関する説明
- ・ 世界メッシュ統計利活用シナリオ・アプリケーション試作デザインワークショップの紹介
- ・ 世界メッシュコード研究会およびプロジェクト継続計画のためのヒアリング

プログラム

18:00 開会・自己紹介

18:10-18:30 書籍出版記念講演「メッシュ統計」&「Applications of Data-Centric Science to Social Design」



18:10-18:30 佐藤彰洋（横浜市立大学特任教授、科学技術振興機構さきがけ研究員）

書籍出版記念講演「メッシュ統計」&「Applications of Data-Centric Science to Social Design」

【概要】

メッシュ統計(共立出版, 2019)では、我が国で1960年代に開発されて現在も広く利用されている地域メッシュ統計について、その成り立ち、実例と、集計単位として利用される日本

工業規格地域メッシュコード(JIS X0410)について解説し、R パッケージや実データを用いた地域メッシュ統計の作成方法ならびに計算方法を紹介しています。Applications of Data-Centric Science to Social Design(Springer, Singapore, 2019)では、データを手がかりとして社会設計を行う方法論を集めそれらを組み合わせる方法、集団力学の様子について描く方法について紹介しています。この2つの書籍の知見を用いることで、メッシュ統計の利用シナリオとアプリケーション創出のためのシステム構築を可能とするワークショップを設計しました。メッシュ統計の利用シナリオとアプリケーション創出を可能とするこのワークショップシリーズについて、内容の解説も行います。

【参考文献】

- ・佐藤彰洋著, メッシュ統計, 共立出版 (2019)
- ・Aki-Hiro Sato (ed.), Applications of Data-Centric Science to Social Design: Quantitative and qualitative understanding of collective human behavior, Springer, Singapore (2019).

18:30-18:40 休憩

18:40-19:20 共同作業

MESHSTATS の機能試験に関する説明 (10分)

プロジェクト継続計画のためのヒアリング (30分)

※付箋紙に実行可能な継続計画を書いて模造紙に貼ることでレコードを作成します

19:20-19:50 発表会

19:50-20:00 閉会